

平成二十六年安中市議会第一回定例会は、二月二十七日から三月十八日までの二十日間の会期で開催されました。

この定例会に市長から提出された議案は、人事案件や条例の一部改正など二十一件、平成二十六年年度予算関係が九件、あわせて三十件が提出されました。

定例会のあらまし

- ◇27日〓本会議 会期の決定、議案二十一件を上程（内一件を即決）、議案を各委員会に付託。
- ◇28日〓本会議 施政方針、平成二十六年年度予算関係九議案を上程。意見書案一件を可決。予算審査特別委員会を設置、同委員会に付託。
- ◇4・5日〓予算審査特別委員会
- ◇7日〓総務文教常任委員会
- ◇10日〓福祉民生常任委員会
- ◇11日〓経済建設常任委員会
- ◇12日〓本会議 一般質問
- ◇18日〓本会議 委員長報告、質疑、討論、採決。市長提出議案二十九件を原案可決。閉会。



今定例会における一般質問は、3月12日に行われ、7名の議員が市政全般について、当局の所信をただし、活発な議論が展開されました。

質問者全員の質問と答弁の要旨を質問者の原稿に基づき発言順に掲載しています。

議会を傍聴しましょう！

次の定例市議会は、
6月3日～6月13日
までの予定です。



地域包括ケアシステム・子供の貧困問題について

公明党 武者 葉子

地域包括ケアシステムの仕組みについて

問 全ての団塊の世代が、七十五歳を迎える二十五年を見据えた、地域包括ケアシステムとは、どんな仕組みなのか。

答 支援や介護を必要とする高齢者に在宅医療、訪問看護、介護サービス、見守りや買い物などの生活支援を協働連携し、住み慣れた地域で可能な限り生活を継続していくための仕組み作りです。

問 本市の取り組み状況は。

答 ケアシステムの必要性を広く市民へ普及啓発し、医師、歯科衛生士、看護師、薬剤師、保健師、社会福祉士、ケアマネージャーなど在宅チーム医療を担う人材育成研修や「要援護高齢者等支援ネットワーク」、地域ケア会議などを開催し、社会基盤の整備を進めています。

問 市の実施計画について

問 地域包括ケアシステムの今後のスケジュールは。

答 日常生活圏域ニーズ調査から、地域の実情に応じた各種サービスの設定、整備計画を立てます。また、介護予防サポーター、認知症サポーターなど担い手づくりや、筋肉トレーニングの普及などの予防事業を推進し、夏頃出される国のガイドラインに沿った計画を検討します。

その他、子どもの貧困問題について質問しました。



地域包括支援センター相談窓口